

<企業立地が農業構造の改善に貢献している事例> 石川県川北町三反田地区「東部工業団地」

- 川北町の「東部工業団地」では、良質な地下水が豊富であることから製造業が立地しており、地域の雇用に貢献している。
- 企業の進出が地域の雇用の受け皿となるとともに、担い手への農地利用集積が図られ、農業構造の改善に寄与している。

川北町の農業概要

川北町は、石川県南部の加賀平野の中央部に位置し、町の南側には県下最大の河川である手取川が流れている。

地形が平坦で水利もよいことから、町内の大部分の農地が田となっていて、そのほとんどが30a区画として整備されている。

川北町実施計画の概要

- (1) 地区名：三反田地区
- (2) 団地名：東部工業団地
- (3) 策定年度：平成29年度
- (4) 計画策定主体：川北町
- (5) 施設用地面積：13.4ha
- (6) 操業企業数：1社

企業の立地状況



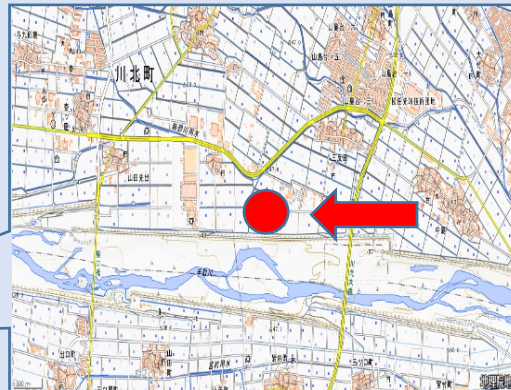
【立地条件】
●北陸自動車道
美川I.Cまで
約10km

【東部工業団地の状況】

業種名	立地面積 (ha)	操業年度	従業員数 (人)
化学工業	8.8	R2	115

位置図

石川県川北町



出典：国土地理院HP

農地利用集積率の状況

	平成30年度末	令和5年度末	増減
川北町	79.2%	85.8%	+6.6